

丹沢：菰釣山

- ◆日程 2018年11月3日(土)～4日(日)
 ◆メンバー L：小山田、小濱

新松田から西丹沢行きバス停には長い行列。こんなに混むものとは知らなかった。紅葉の時期を侮っていた。臨時バスが出て、座れるくらいに人数に調整していた。ありがたい。



11月3日(土) 天候：晴のち曇り

ビジターセンターのかたに避難小屋付近の様子を聞くと、「小屋の周りをたまに熊がウロウロしてるけど、喋っていれば大丈夫」とのこと。少し不安になりつつ、橋を渡ってまずは畦ヶ丸を目指す。バスを降りた登山者は、檜洞丸や大室山方面に行くひとがほとんどのようだ。台風で流されたという橋は、どれも新しく架け替えられていて、気持ちいいが、多少渡渉箇所が変わっている気がする。このあたりの紅葉は、見ごろまであと少し、というかんじ。畦ヶ丸山頂は意外と混んでいた。カメラをお願いしたソロ男性が、みろく山の会のかたで、ひとしきりみろくの話进行う。適当なところで切り上げ、先へ進む。ここから先は、避難小屋に着くまではふたりしか登山者に行き会わなかった。進むごとに紅葉が濃くなっているような印象。最近折れたと思われる倒木が道をふさいだりしている。台風のせいだろうか。アップダウンを繰り返して、避難小屋に向かう。モロクボ沢の頭からは右手に道志山塊を、左手に丹沢を見ながら歩く。常にその風景なので、一度違う尾根に入りそうになったときは、すぐにおかしいと気づいた。避難小屋に着くと、ソロ男性がひとりいらした。あとふたり、男女は水汲みに行っているという。水場が遠いことは聞いていたので、私たちは水は担いできていた。戻ってきた男性のほうが遠いとこぼしていたので、重くても担いできてよかった。とても綺麗な避難小屋で、土間にはテーブルとイスもあり、板張りのところは詰めれば10人くらいは寝られそうだ。中も暖かい。小濱さん用意のワンタンと野菜鍋であったまり、前からやってみたかった山でホットケー

キ、を焼いてみる。なかなかうまく焼け、満足。食後は小濱さん指導のもと、ストレッチで身体を伸ばす。これが効果てきめんで、翌日もその次の日も身体が非常に楽だった。伸ばし方にコツがあるものだとわかった。感謝です。八時前に就寝。(記：x x)

CT：西丹沢ビジターセンター8:40 - 畦ヶ丸 11:40 - モロクボ沢の頭 12:20 - 城ヶ尾峠 13:20 - 菰釣避難小屋 15:15

11月4日(日) 天候：雨のち曇

四時起床。五時出発を予定していたが、あいにくの雨。少し様子を見ることに。小やみになり、明るくなってもきたので、出ることにする。ソロ男性のかたは大室山に向かい、今日も加入道の避難小屋に泊まるという。カップルは全く起きてこなかった。すぐに止むことを期待したが、残念ながら菰釣山山頂からは全く眺望はなし。ただ紅葉は進むほどに綺麗になり、もやと雨でけむる中、ぶなの木も非常に幻想的で、これもいいものと思った。今日の道は倒木が非常に多く、あまり整備されていない印象だった。かなり大きな木が道をふさいでいて、乗り越えて進む。道の様子やアップダウンの感じからして、逆コースをたどったほうが、おそらく楽だろうと思われた。今回富士山を眺めながら歩きたいと、丹沢から向かったのに雨で残念だ。菰釣山を過ぎると道志みちを通る車の音が聞こえてきてしまい、少し興ざめだ。雨がやまないもので、三国山まで行くのはあきらめ、手前で降りることにする。途中で東電の作業道に騙され、送電線の鉄塔下に出ってしまった。分岐でちゃんとコンパスを振らないから、こういうことになる。反省。登り返し、高指山もパスして、富士岬平から降りる。いちめんススキ野原だ。晴れていたら富士山と相まってすごい眺めだろう。別荘地に出て、雨も上がり石割の湯まで歩く。

温泉で汗を流し、平野からバスを乗り継ぎ、御殿場経由で帰った。天候は残念だったが、女ふたり、非常に楽しい山行だった。(記：小山田)

CT：菰釣避難小屋 5:45 - 菰釣山 6:15 - 石保土山 8:35 - 別荘地 11:00

甲相国境尾根歩き、秋の丹沢を満喫できるコースでした

1日目 西丹沢から菰釣山避難小屋までアップダウンの連続でした。西丹沢では秋はこれからという樹木の様子が、菰釣山辺りでは秋らしくなっていくのが面白く感じました。

避難小屋には先行者があり、暗くなっていく中どうしていいのか戸惑いましたが、小山田リーダーの指示のもと寝袋準備、夕飯準備と順調に進みました。なんととっても美味しかったのがホットケーキ!! 暖かくて甘いなんとも幸せな気持ちになれました。ありがとうございます!!

2日目 菰釣山避難小屋から出発すると雨が降っていました。雨の中の尾根歩きもなかなか雰囲気がありましたが、展望がないのが残念でした。途中富士岬平で下山し石割の湯で身体をゆったり温めて帰ることが出来たのは有難かったです。

今回は女性2人ということでお喋りし過ぎてしまったかかも、と反省しつつ、喋りながらも秋の山歩きを堪能できたのは小山田リーダーのお陰です。本当にありがとうございました。

(記：小濱)